

序

「東南アジア青年の船」事業は、わが国とASEAN（東南アジア諸国連合）の青年が船内や訪問国で生活を共にする中で、討論、ホームステイ等様々な交流活動を通じて、参加青年間の友好と相互理解を深めるとともに、国際的視野を広げ、国際化が進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる青年を育成することを目的としています。

本事業は、昭和49年にわが国とASEAN加盟国との共同事業として発足し、今回で44回目となりました。これまでの参加青年は累計で1万2千人を超え、かつて青年として参加された方々は、今ではそれぞれの国や地域、そして国際社会において活躍されています。

平成29年10月から12月にかけて実施した約50日間の今回の事業では、東京及び地方での国内活動を皮切りに、カンボジア、タイ、インドネシア、マレーシアを訪問するとともに、タイ滞在中には参加青年の代表団がラオスを訪問しました。

訪問国では、各国首脳等への表敬訪問、地元青年との交流、ホームステイなどを通じて、また船内では、各国に共通する課題についての討論、各国紹介、PYセミナーなどを通じて、参加青年は、相互理解を深めるとともに、幅広い視野をもつリーダーに成長するための貴重な経験を数多くしたものと確信しています。

また、参加青年は本事業で得た知見や経験を踏まえて、事業終了後に実施する社会貢献活動などの事後活動を乗船中に企画・立案しました。参加青年が本事業で培ったネットワークを活かし、各国、地域、更には世界を舞台に事後活動に取り組み、社会に貢献してくれることを期待しています。

この報告書は、参加青年が日本国内、船内及び各訪問国で行った様々な活動を記録したものです。また、本事業に対する各国首脳等からのメッセージや参加青年による事業評価等も収録しています。この報告書が本事業の内容や成果を御理解いただく際の一助となれば幸いです。

最後に、本事業の実施に当たって御協力いただいた参加各国政府、各国事後活動組織、ホストファミリー並びにわが国の外務省を始めとする関係省庁、地方公共団体及び青少年団体の関係各位に心から御礼申し上げます。

平成30年3月

内閣府青年国際交流担当室長
福田 正信

平成29年度 第44回「東南アジア青年の船」事業

CONTENTS

序	3	第5章 ディスカッション活動・事後活動セッション	
カラーグラビア	5	1. ディスカッション活動・事後活動セッションの概要	90
第1章 事業の概要		2. ディスカッション活動・各グループのレポート	93
1. 趣旨	18	3. 帰国報告会（各国事後活動提案）	140
2. 日程	18	第6章 本事業に対する各国首脳等のメッセージ	
3. 構成	19	1. 日本	148
4. 経費及び使用船	19	2. カンボジア	149
第2章 事業の企画から出発まで		3. タイ	151
1. 日本参加青年の選考	22	4. ラオス	152
2. 関係各国連絡会議	22	5. インドネシア	153
3. 事業関係資料の作成	24	6. マレーシア	154
4. 内閣府による事前調査	24	第7章 本事業に対する評価等	
5. ファシリテーター会議	24	1. 管理官報告	156
6. ナショナル・リーダー会議	25	2. 参加青年による事業評価	161
7. 日本国内活動日程の作成	25	3. 船長あいさつ	169
8. 日本参加青年の事前研修及び出航前研修	26	関係資料	
第3章 日本国内活動		1. 日本参加青年事前研修日程	172
1. 日本国内活動日程	28	2. 日本参加青年出航前研修日程	173
2. 参集式・歓迎レセプション	43	3. 日本参加青年帰国後研修日程	174
3. 基調講演	43	4. 参加者名簿	175
4. ホストファミリー代表者の招へい	48	5. 参加青年の構成等	203
5. 船内公開・出航式	48	6. SSEAYPインターナショナルの概要	204
第4章 運航（船内及び訪問国活動）		7. 「東南アジア青年の船」事業実績	206
1. 運航日程・航路図	50	8. にっぽん丸船内配置図	210
2. 船内組織	52		
3. 船内運営委員会（COC）	58		
4. 船内活動	58		
5. 訪問国活動	83		
6. 解散式・解散交歓会	88		
7. 下船・帰国	88		
8. 日本参加青年の帰国後研修	88		

日本国内活動

参集式・歓迎レセプション (10月24日)



参集式にてMr. Muhammad Hanis Bin Haji Osman(ブルネイ・ユースリーダー)が決意表明のスピーチをする



参集式にて松山政司内閣府特命担当大臣とMr. Adinegoro Siswondo(インドネシア・ナショナル・リーダー)が記念品の交換をする



参集式にて松山政司内閣府特命担当大臣による挨拶



歓迎レセプションにて松本文明内閣府副大臣とご出席された各国大使及び大使館代表者

地方プログラム (10月25日～10月29日)



安田蒲鉾でかまぼこ作り体験(福井県)



指導を受けながら、箸作り体験(新潟県)



ホストファミリーと対面する参加青年(長野県)



桐生高校にて高校生と意見交換をする参加青年(群馬県)

課題別視察 (10月30日)



株式会社ボードレス・ジャパンにて会社見学をする参加青年(青年の起業グループ)



東洋大学にて一般社団法人グローバル教育推進プロジェクトGiFTのワークショップに参加する(質の高い教育グループ)



わたくし日本橋にて三井不動産株式会社の社員と昼食交流(レジリエントで持続可能な都市づくりグループ)



特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワークのボランティアと交流(不平等の是正グループ)

東京プログラム (10月31日)



モデル・定住旅行家ERIKO氏による基調講演



交流の夕べにてソーラン節を披露する実行委員(10月31日)

訪問国活動

カンボジア



H.E. Samdech Akka Moha Sena Padei Techo Hun Senカンボジア王国首相表敬訪問(11月10日)



歓迎夕食会にて全参加青年でカンボジアのチアダンスを踊る(11月10日)